



NISA との比較で iDeCo を考える

社会保険労務士 1級 DC プランナー(企業年金総合プランナー) 石渡 和巳

NISA(少額投資非課税制度)とは

NISA とは、「NISA 口座(非課税口座)」内で、**毎年一定金額の範囲内で購入した金融商品から得られる利益が非課税になる**制度です。

NISA は以下3種類の制度があります。

① 一般 NISA

株式・投資信託等を年間 120 万円まで購入でき、最大5年間非課税で保有できます。

② つみたて NISA

一定の投資信託を年間 40 万円まで購入でき、最大 20 年間非課税で保有できます。

③ ジュニア NISA

株式・投資信託等を年間 80 万円まで購入でき、最大5年間非課税で保有できます。

なお、2020 年度制度改正において、ジュニア NISA については、新規の口座開設が 2023 年までとされ、2024 年以降は新規購入ができないこととされました。

また、令和5年度税制改正の大綱等において、**2024 年以降の NISA 制度の抜本的拡充・恒久化の方針**が示されました。

NISA と iDeCo の比較ポイント

【加入年齢】

NISA は 20 歳以上なら誰でも、iDeCo は 20 歳から 65 歳になるまで積み立てが可能です。

【積立金額】

iDeCo は月 5,000 円から年金種別ごとの上限金額まで、つみたて NISA であれば月 100 円から投資できる金融機関もあります。

【運用商品】

NISA は、株式・投資信託など、iDeCo は投資信託以外にも定期預金・保険などの元本確保型商品も選択可能となっております。

【税制優遇】

NISA・iDeCo 共に運用益が非課税となっております。また iDeCo は上記に加え、掛金全額が所得控除、受給時に一時金は「退職所得控除」年金は「公的年金等控除」を受けられます。

NISA と iDeCo のメリット・デメリット

上記比較ポイントから **iDeCo は積立可能年齢に上限があることに対し NISA には年齢の上限はありません**。例えば 55 歳の方が積み立てを開始した場合、iDeCo だと積み立てできるのが 65 歳までに対し、つみたて NISA は 70 歳以降も積み立て可能です。また iDeCo の場合原則 60 歳まで資産の引き出しができないのに対し、つみたて NISA はいつでも資産の引き出し可能です。急にお金が必要になったときつみたて NISA は資産の引き出しが可能です。

税制面で見ると **iDeCo は「掛金を拠出する時」「運用益が出た時」「年金の受取時」に優遇措置があり、「運用益が出た時」のみの NISA よりメリットがあります**。また上記で説明した 60 歳まで資産を引き出せないことは老後資金をより確実に用意することにおいてはメリットになっています。

NISA と iDeCo の選択ポイント

NISA と iDeCo は併用することができます。併用するとその分お金は必要になりますが非課税の投資金額が増えるのでより効果的に資産を増やすことができます。ただ投資できる金額も限られているのでどちらを優先するかは各個人の用途によって変わってくると思います。

資金目的が老後資金で厚く税制優遇を享受したいのであれば iDeCo を検討することに対し老後資金以外の用途を検討の場合 NISA を検討するという考え方もあります。上記比較ポイント、メリット・デメリット等を参照し自分にあった選択を試みましょう。